

川村信吾

所属：地域福祉推進課（R2 インタビュー時）

平成30年12月26日～平成31年1月9日 育児休業取得
次女【8か月】（取得当時）



■ 育児取得のきっかけは？

当初、取得の予定はありませんでしたが、妻に進められたこともあり、取得を意識するようになり総務係に相談をしました。1人目（長女）のときにも考えましたが、組織の中に誰も取得した人がいなかったのが躊躇してしまったように感じます。

長女を育てるなかで、妻の大変さが身に染みてわかりました。2人目になるとさらに大変になることは容易に想像できたので、取得を決心しました。育休は子どものためでもあり妻のためでもあると思います。育休について考えることで、あらためて**家族を大切に思う**きっかけになりました。

□ 育休中の過ごし方は？

おむつ交換や家族のご飯の用意、子どものお風呂…など、なんでもやりました。男は授乳がないだけだと思いますよ。

また、自分が下の子を見ている間に、上の子の保育園の送迎を妻に行ってもらうことで、少しでも外に出る機会を作り、気分転換をしてもらいました。

■ 育休中特に印象に残っていることは？

1日を通して子どもを見ることができたことです。仕事に行っていると、断片的にしか子どもの様子を見ることができないので。

□ 育休を取得して良かったことは？

子どもという時間が長く取れること。子どもは、**1日1日成長**しているので、ちょっとした変化を感じ取れるのは嬉しかったです。

その反動か、妻は育休が終了する時にはげんなりしていました。育休終了後は家にいられる時間は短くなってしましますが、お互いが協力して家事や育児をしていこうと話しています。育休中に**夫婦の仲**もさらに深まったと思いますよ！

■ デメリットは？

仕事は気になりました。でも、同じ部署の人たちも、取得できる環境を整えてくれて、後押ししてくれたので、安心して取得できました。

自分は収入が減ることはあまり気にならなかったですね。デメリットにならないと思いますよ。その分、お金以上のものが得られましたから！

□自分自身の成長につながった？

仕事で子どもや子育て中の人と接するなかで、経験が活かされるようになったと思います。泣き方によって「眠い」や「お腹が空いた」など違いがありますからね。そういうのを共有できるようになったのは、プラスになりました。

■奥さんの反応は？

とても良かったです。やはり一番取得してほしいと思っているのは妻ですし、一緒に子育てする時間が増えたことで、お互いやさしい気持ちになれました。

□復帰後の仕事は？

久しぶりに仕事に行く日はドキドキしましたが、職場環境も良いので、不安はなかったです。ただ、上司にはもっと長く取得しなさいと言われてしまいました…

■もし、3人目が産まれたらまた取得する？

絶対にまた取得したいと思います。今度は、最低2週間から1ヶ月ぐらいは取得できると良いかな。次は産後すぐに取得したいと思います。できれば産まれる前から取れると良いですね。

□取得しやすい環境とは？

やはり、管理的立場の人が後押ししてあげる環境は必要だと思います。そうすることで、周りの人の理解も進むと思いますし。

それから、職種によって取りやすい、取りにくいがあるのは良くないかなと思います。

朝霞社協は子ども関係の部署や施設もたくさんありますので、こういうことにも率先して取り組んでいかなければならないと思います。

■育休取得を考えている人にメッセージを

せっかく機会があるのであれば有効に使ってほしいですね。自分自身の良い経験になりますよ。

自分は人に何かを伝えるとき・勧めるときに、やったことがないものはやったほうが良いとは言わないんです。だから取得したからこそ、伝えられることがあると思います。また、自分が管理的な立場になったときにも、それは活かせるのかなと感じています…

いま、
この時にしかできない
経験を！

